

私は十央麗華
エロ漫画のアシスタントを
している

今はとある公衆トイレに
来ている。

この人が呂色つみき
私がアシスタントしてる
エロ漫画家先生

漫画描くために手段を
問わないヤバい人……

今日もおっさんに
ダッチワイフ抱かせて
シーンの作画してる







原稿をダメにした償いとして
同人本に出てくるキャラと
同じ姿で売り子をする事になった...

もちろんここは
裏の即売会だ

限定セットを購入した人に
私がサービスしないといけない...
ううう...なんでこんなことに...

実は私はこうして
身体を使うアシスタント業が
ほとんどだ

うう...鼻息が
乳首にかかってるう...

そしてイベントは閉会
終わりを迎えたと思われたが

あ、まだ帰っちゃだめよー

え？

実はね、あなたと
アナルセックスで
きる権利を
くじ引きしてたのよ

このあとその人たちと
ホテル行くから
そのつもりで♡

もちろんバイト代は
上乗せするから♡

実はね、あなたと
アナルセックスできる権利を
くじ引きしてたのよ

このあとその人たちと
ホテル行くから
そのつもりで♡

もちろんバイト代は
上乘せするから♡

もつとやる気だして
くれないとネタに
ならないでしょ？

だ、だめ！
その…邪眼は
使っちゃ

そう——つみきさんは
何故か不思議な邪眼をもつ。
これを使われると理性を
保てなくな…る

中!!ケツ穴で
思いつきり精液ちょーだい!!!
チンポねじ込んでえええ!!

そうそう、それでこそ
あたしのアシスタントよ

